



2022年5月20日

各位

会社名 株式会社城南進学研究社  
 代表者名 代表取締役社長CEO 下村 勝己  
 (コード番号 4720 東証スタンダード)  
 問合せ先 取締役常務執行役員CFO 杉山 幸広  
 (TEL. 044-246-1951)

### 通期業績予想と実績値との差異及び特別損失の計上に関するお知らせ

2021年11月12日に公表いたしました2022年3月期通期連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたことを下記の通りお知らせするとともに、特別損失を計上いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 通期業績予想と実績値との差異

2022年3月期連結業績予想と実績値との差異 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 6,324	百万円 70	百万円 62	百万円 △83	円 銭 △10.36
実績値(B)	6,254	78	70	△636	△79.59
増減額(B-A)	△70	8	8	△553	
増減率(%)	△1.1%	11.4	12.9	—	
(参考)前期実績 (2021年3月期)	5,709	△637	△585	△1,056	△131.16

#### 2. 差異が生じた理由

当連結会計年度の売上高につきましては、前回予想から70百万円の減少となりました。一方で、営業利益、経常利益につきましては、不採算教場の整理や経費の削減を推し進めた結果、予想を上回ることとなりました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、後述する特別損失の計上により、予想を下回ることとなりました。

#### 3. 特別損失の計上及びその内容

2021年11月12日に公表いたしました通り、第2四半期において減損損失68百万円を特別損失に計上いたしました。これに加え直近の動向を踏まえて中長期計画の見通しについて精査した結果、個別指導部門等における一部固定資産の減損損失94百万円を特別損失に計上することといたしました。また、子会社である株式会社フェアリー及びTrestler株式会社の今期業績の動向及び中長期計画の見通しについて精査した結果、将来キャッシュ・フローベースで当初の計画を下回ることとなったため、未償却のれん残高を一括償却し、減損損失として331百万円を計上いたしました。

#### 4. 期末配当について

期末配当につきましては、1株当たり5円から変更はございません。

以上